

家庭学習のてびき（保護者用）

甲斐市立竜王東小学校

1 はじめに（家庭学習の意義）

毎日の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が定着するよう日々努力していますが、家庭学習を通して家庭との連携を図ることで、より確かな学力が定着するものと考えます。保護者の皆様におかれましては、子どもたちと一緒に「家庭学習のてびき」をご覧ください、ご理解とご協力をお願いいたします。

2 家庭学習を通して育てたい子どもの姿



- 時間を有効に使うことができる子ども
(勉強や読書、お手伝いを使う時間が、テレビやゲーム、スマホに費やす時間よりも多い)
- 家庭学習の習慣や方法を身につけた子ども
- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子ども
- 学ぶ意欲を持ち続ける子ども

3 学年の発達段階による家庭学習に向かう姿

低学年（1，2年生）	中学年（3，4年生）	高学年（5，6年生）
・学校の宿題ができる。 ・宿題以外にも、自主的な学習が少しずつできる。 ・少しずつ自分で答え合わせができる。	・宿題が確実にできる。 ・宿題以外にも、自主的な学習に取り組むことができる。 ・自分で答え合わせができる。	・計画的に家庭学習に取り組むことができる。 ・何に取り組むかを考え、必要感のある学習ができる。 ・自分で答え合わせができる。

4 基礎的・基本的な学習内容とは

主として学校で学習する内容（教科書に記載されている内容）です。
特に、次のような技能は、各学年間でつながりを持っていますから、それぞれの学年で確実に身につけておくことが望ましいと言えます。

- ・教科書に出てくるような文章をすらすら読むこと。
- ・教科書に出てくる漢字を読んだり書いたりすること。
- ・教科書に出ているような算数の問題を解くこと。



5 学習時間のめやす（宿題を含む）

学年 × 10 + 10分

※これはあくまでもめやすです。お子さんの実情に合わせて設定してください。

6 家庭学習を支えるために、ご家庭のご協力を（保護者のみなさんへのお願い）

① 正しい生活習慣が家庭学習の基本です。

早寝、早起き、朝ごはん、しっかりあいさつ

- ・規則正しい生活が学習意欲を高めます。
- ・睡眠をしっかりとることが学習への集中につながります。
- ・朝ごはんが脳の働きを活発にします。
- ・家族であいさつを交わすことで、心の安定につながります。



② 学ぶ環境を整えることが大切です。

- ・落ち着いた場所で、正しい姿勢で学習できるようにしましょう。
- ・食べながら、飲みながらの学習はやめましょう。
- ・身のまわりの整理整頓をしてから学習しましょう。
- ・音楽やテレビを消して学習しましょう。
- ・学習に集中できる環境をつくりましょう。
☆テレビ、ゲーム、パソコンなどを長時間行い、夢中になると、学習への意欲が減退し、集中力の低下を招きます。時間を決めるなど、使い方のルールをきちんと決め、守っているかをチェックしてあげましょう。
- ☆スマートフォン、携帯電話も使い方のルールを決め、学習中は使わないようにしましょう。

③ 関わるのが大切です

- ・子どもの学習に目を向け、必要な声かけをし、見守りましょう
- ・子どもの努力を認め、ほめましょう（心に響く言葉かけを）
- ・知的好奇心がわくような働きかけをお願いします
例）新聞やニュースに目が向くようにする 図書館や美術館に出かける など